

住民の同意を貰える可能性があるのか。公社の土地を他の目的に使用させている例があるのか。(2)都市整備行政について

大村藩の初代藩主・喜前公は玖島城を築いたおりに、長堀や南堀に菖蒲園を作られたが、今現在、菖蒲園の手入れ作業の軽減と経費削減を図るとして除草の為、マツトを布設しているが自然の手入れに任せないか。

玖島城には昔日を彷彿とさせる石垣が多いが、今危険を伴う胎み石の状態もあるが対策は。

教育次長 (1) 17年中を目標に国指定申請をするための資料づくり、指定に必要な地権者の同意をいただく準備を進めている。

地域の町内会から土地の草払い等を行い良好な管理をしたいとの申し入れを受けた。史跡を壊すような行為の禁止、一時的な使用、独占的な使用をしない旨の条件を付して使用を許可している。

7月ぐらいに新幹線の問題を解決し、地元の説明、それから同意取得のための働きかけ等を行ってまいりたい。用地の使用については、土地開発公社で先行取得をしているため、当然に土地開発公社と協議をし許可したものである。

都市整備部長 (2) 防草シートの使用は、除草作業の経費削減と

保水の役目も担っているが、菖蒲の生育に全く影響がないとは否定はできない。土壌の消毒や耕運並びに施肥などによって適正な管理を行っているが、今後専門家あるいは専門機関の御意見を伺いながら、検討したい。

現在、公園の石垣の状況を調査しており、当面の処置として原因の一つと考えられる石垣上部にある樹木の撤去を検討している。

(その他の質問事項)
県営バス撤退と民間バスの運営男女共同参画について。
小・中学校の整備について。



大村公園花菖蒲

食料自給率を向上させよう！
環境政策課の新設を！

大崎議員 (1)農林行政について

日本の食料自給率を考えた場合市としても少しでも自給率をあげる施策を考えるべきだが。

新規就農者の促進策について
リストラや早期退職などで、新たに農業に取り組もうと考えている者への支援や促進策は？

遊休農地の有効利用について
高齢者の生きがいづくり・健康づくりのために、地域の町内会や老人会に無償で貸し出し、高齢福祉・介護予防に役立ててはどうか。

(2)総務行政について
第4次行革大綱の検討が始まっているが、市民のニーズの変化を受けてどの程度の機構改革を考えているのか。

環境政策課の新設を要望する。
多岐にわたる環境問題が環境保全課に寄せられ、対応ができない状況だが、環境施策を立案実行し、またISO14001を取得に向けた推進室を含めた環境政策課の新設を強く要望するが、どうか？

市長 (1) 新規参入の場合、一般的な課題として、1 農地の確保、2 資金の確保、3 技術

の習得、4 住宅の確保等であるが、現在関係機関がそれぞれ支援をしている。県央地域では農業改良普及センターを核として、地域就農支援センターが設置されており、市と農業委員会、農協を構成員として、就農啓発活動や新規就農者のフォローアップ活動等、新規就農の促進を図っている。

高齢者が仲間と一緒に野菜づくりや花づくりを行うことは、生きがいと健康づくりにもつながるよい提案だと思う。大村市元気老人活動促進事業と趣旨を同じくするため、この事業の中に取り込めないか、検討を進めているところである。なお、対象は、個人ではなく、老人会や地域のグループを対象にしたい。

総務部長 (2) 基本的な考え方としては、組織のスリム化と人員削減である。これを主眼に置いて、外部委託あるいは施設の統廃合、これも含めて論議をしていきたいと考えている。

市長 行財政改革の中で、環境部門におけるISOも含めての取り組み体制を、ここの二、三年で対応ができるよう、一歩踏み込んでみたいと考えている。

(その他の質問事項)
学校飼育動物でこころの教育を。部活動指導者への指導研修は。